

## 石川ハイテク交流センターの平成18年度管理状況

施設所管課	商工労働部産業政策課
指定管理者	(財)石川県産業創出支援機構 理事長 谷本 正憲
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日

### (1) 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務(仕様書、事業計画)の実施状況 (不十分な場合、その理由、指摘事項を記入)
産学官交流の推進に関する業務	<p>産学官交流の機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸先端大、いしかわサイエンスパーク進出企業、県等が出席するいしかわサイエンスパーク交流会(毎週木曜日)を開催し、産学官連携や情報交換を促進</li> </ul> <p>自主事業の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ISPフェスタの開催(H18.6.3) 産業を支援する「知」の拠点施設を一般市民に公開するとともに、進出企業の製品や事業内容の紹介、ミニコンサートや講演会、スタンプラリー等の企画を実施</li> </ul>
利用の促進に関する業務	<p>施設の情報提供、広報、広告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の顧客リストをもとに電話等により利用促進を図る</li> <li>・先端大関係者に対する施設利用の働きかけ (H17年度会議件数42件 H18年度115件)</li> <li>・能美市、能美市商工会へパンフレット配布と施設利用の呼びかけ</li> <li>・ISP視察に訪れた企業へのパンフレット配布と施設利用の呼びかけ</li> <li>・市広報への掲載依頼</li> <li>・(財)金沢コンベンションビューローHP掲載依頼</li> <li>・パンフレット、ホームページの作成等</li> </ul> <p>宿泊者及び施設利用者の苦情・意見の把握・対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者ニーズの反映</li> <li>・無線LANの使用範囲を全館に拡大</li> </ul>
使用の承認に関する業務	<p>使用許可等の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊施設 許可数1,666人、不許可数0</li> <li>・会議室 許可数821件、不許可数0</li> </ul> <p>使用料の収入実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊施設 6,883,880円</li> <li>・会議室 4,397,651円</li> <li>・テニスコート 44,440円</li> </ul>

<p>施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務</p>	<p>清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常清掃...会議室、宿泊室、事務室、玄関、廊下、トイレ、ホール、レストラン、洗面所</li> <li>・ 日曜清掃...宿泊室等</li> <li>・ 定期清掃...弾性床（年４回）、カーペット床（年２回）、窓ガラス（年２回）、池（年１回）</li> <li>・ ビル管理法に基づく諸検査</li> </ul> <p>保守点検</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空調設備</li> <li>・ 消防設備</li> <li>・ 電気工作物</li> <li>・ エレベータ点検</li> <li>・ 通信装置</li> </ul> <p>警備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎日１名が常駐（平日１７時半～翌８時半、土日祝２４時間）</li> </ul> <p>小規模修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音響設備</li> <li>・ 水道カラン</li> <li>・ トイレセンサー</li> <li>・ 水回り施設 等</li> </ul>
<p>（その他知事が必要と認める業務）</p>	<p>緊急時の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当施設消防計画等による年２回の避難・通報訓練の実施や緊急時対応についての職員教育の充実</li> </ul>

（２）施設の利用状況

利用指標（（設定している場合）利用人数、稼働率などの数値目標）

指標	H17年度 （参考）	H18年度	前年度比	増減理由
会議室利用者数 （人）	6,679人	10,330人	155%	地元商工会等への働きかけなどによる会議室、宿泊施設の利用増
宿泊者数（人）	1,522人	1,666人	109%	

使用許可等の状況

	許可数	不許可数	不許可理由
宿泊施設	1,666人	無し	
会議室	821件	無し	

（３）使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

	収入額	減免額	減免理由
宿泊施設	6,883,880円	2,160,120円	下記による

会議室	4,397,651円	0円
テニスコート	44,440円	0円

当施設に宿泊する者で、減免の措置を行うことにより、施設の設置目的である「産学官交流等の推進を通じ、高度な科学技術の振興を図る」ことに資する特定の者。

- 対象者
- イ、北陸先端科学技術大学院大学を訪問する者で、教育・研究を支援する者。
  - ロ、いしかわサイエンスパーク進出企業・研究所等で、教育・研究を支援する者
  - ハ、石川ハイテク交流センターにおいて実施される高度な科学技術の振興に資することを目的として来訪する者。
  - ニ、その他、石川県における高度な科学技術の振興に資する目的で利用する者。

(4) 収支決算

(千円)

収入		支出	
受託料収入	40,255	人件費	17,351
使用料収入	11,326	光熱水費	8,649
喫茶事業収入	6,524	修繕費	1,664
共益費収入	606	委託費	24,610
雑収入	140	賃借料	1,794
労務費負担金収入	7,444	消耗品費	895
		喫茶運営事業費	6,685
		修繕積立預金	3,087
		その他	1,560
合計	66,295	合計	66,295
収支差額	0		

(5) その他、県が必要と認める事項(管理の実態を把握するために必要な事項)  
利用者アンケート結果、評価、苦情、要望

年月	内容	対応
平成18年	宿泊施設において、冷暖房のききが悪いとの指摘(4件)	修繕の実施(7、8、12月)
平成18年4月	大会議室等において、インターネット利用の不便が指摘	無線LANの範囲を全館に拡大(大会議室、レストラン等)

事故、故障等

年月	内容	対応
平成18年6月	加圧給水ユニット1号機修繕	応急処置し詳細調査後に修繕実施
平成18年6月	受水槽配管及びボールドアップ修繕	
平成18年8月	C会議室ファンコイル・コントローラ修繕	応急処置し詳細調査後に修繕実施
平成19年3月	給水ユニット改修工事	

その他報告事項など

特になし
------

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見(工夫、改善点)
サービスの維持・向上に向けた取り組みが行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状把握と利用者の利便性向上のため、施設利用者に対してアンケート調査を実施した。</li> <li>・無線LANの使用範囲を大会議室やレストランなど全館に拡大し、利用者の利便性向上を図った。</li> </ul>
利用促進に向けた取り組みが行われているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の顧客リストをもとに電話等により利用促進を図るとともに、能美市、能美市商工会等へ積極的な利用の働きかけを行った結果、全体として宿泊者数、会議件数ともに増加した。</li> <li>・北陸先端大及びいしかわサイエンスパーク進出企業等といしかわサイエンスパーク交流会(毎週木曜日)を開催し、利用促進に対する働きかけを行っている。</li> </ul>
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の維持管理を適切に運営し、専門的知識等を必要とする部門は、外部専門業者に委託し、敏速、適切な管理を実施した。</li> </ul>
緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設消防計画等に基づく、緊急時の対応、研修を実施した。</li> </ul>
適切な管理運営を行う組織・体制か。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な人材配置によって、施設の設置目的である産学官交流等を推進するとともに、適切な管理運営が行える体制となっている。</li> </ul>
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の設置目的にあった管理運営がなされており、施設利用者の利便性向上やサービスの向上、利用促進に向けた新たな取り組みを実施しており、今後の成果に期待できる。</li> </ul>

評価基準

- A(優): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を上回っている
- B(良): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C(可): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D(不可): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を下回っている

総合評価

- A(優): 適正であり、優れた実績をあげている
- B(良): 適正である
- C(可): 概ね適正であるが、一部改善を期待する
- D(不可): 改善が必要である

(7) 助言・指摘事項

特になし